

様式 2

令和 8 年度第 1 回 富士見市立つるせ台小学校 コミュニティ・スクール協議会 議事録						
日 時	令和 8 年 5 月 1 5 日（金）		開会 午前 9 時 3 0 分 閉会 午前 1 1 時 1 0 分			
場 所	富士見市立つるせ台小学校 1 階 会議室					
出 席 者	委 員	小田島委員	笠原委員	城委員	梅田委員	齋藤委員
		○	○	欠	○	○
		大里委員	大堀委員	田中委員	小村委員	鷺尾委員
		○	○	○	○	○
		野村校長	田村教頭	川畑主幹教諭		
		○	○	欠		
	事 務 局	つるせ台小学校教頭 田村 和彦、主幹教諭 川畑 那由昂				
公 開 ・ 非 公 開	公開（傍聴者なし）					
議 題	（１）富士見市教育委員会挨拶・委嘱状交付 （２）校長挨拶 （３）委員自己紹介 （４）学校経営方針についての説明 （５）情報交換					
議 事 内 容						
（１）富士見市教育委員会挨拶・委嘱状交付 ・コミュニティ・スクールの趣旨について説明 ・委嘱状の交付 （２）校長挨拶 （３）委員自己紹介						

(4) 学校経営方針についての説明

【校長より説明】

- ①目指す学校像
- ②学校経営の在り方
- ③教育活動を進める上での共通理解事項
- ④今年度の具体的な取組

【協議内容】

委員：「つるせ台小でよかった！」という目指す学校像は、キャッチフレーズのように分かりやすい。

委員：「褒める」より「認める」をすすめていこう、ということは大事だと思う。子どもたちは成果を求められてばかりでは苦しいだろう。

委員：一つの指針をいただけたようで良かった。

委員：結果ではなく過程を認める、ということに多く学ぶところがあった。参考にしたい。

委員：授業や普段の活動の様子から、子どもたちにも少しずつ浸透しているように感じる。

【協議結果】

- ・承認

(5) 情報交換

- ・低学年から高学年に上がるにつれて、タブレットの使用状況も多かった。
- ・行き渋りの子にとって、「学校に行きたい。」と思うには、「みんなが楽しそうに活動している。」「来ると楽しい。」と感じられるとよい。保護者にとっても、そのように感じられるとありがたい。
- ・「支援する」「寄り添う」ことをより適切に行っていきたい。
- ・1年生の絵が上手で、2年生ではさらに高まっているように感じられた。色もカラフルで、心が充実していると感じる。
- ・図書館（分館）は、生涯的に利用できることを子どもたちに伝えていきたい。
- ・どの学年も落ち着いており、真面目に授業に参加し、よく話を聞いていた。
- ・あいさつの定着は難しいが努めていきたい。ただ、かつてに比べると良くなっていると思う。
- ・スマイルルームは何の目的で設置されているのか？

→すぐに教室へ行けない子が心を落ち着けることができるように、その後に教室にスムーズに入ることができるように。令和8年度からは支援員も配置された。

- ・働き方改革、実態的には進めることがなかなか難しい。
- ・オープンスペースの環境は子どもたちにとって良いのか？

→教員が隣の教室の様子をすぐに見られることから、生徒指導上の利点がある。学年集会でも活用しやすい。また、児童同士も学年内でつながりやすく、効果はあると考えられる。ただ、特性のある児童にとっては、妨げになることもあるかもしれないので、その点の配慮は必要である。